様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施　策	③質の高いクルーズ観光の推進
			施策の小項目名	○観光交流拠点としての寄港促進
主な取組	クルーズ船寄港地の形成（中城湾港）		対応する成果指標	プレミアム／ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合
施策の方向	・クルーズ寄港地の分散化と県内での周遊を促進することにより、より広い範囲・分野に経済効果を波及させるため、県内周遊クルーズや着地型観光を図るとともに、受入施設、二次交通及び周辺環境の整備を進め、観光交流拠点としての寄港促進に向けて取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
中城湾港新港地区において、大型クルーズ船の寄港要請があり、また、クルーズ船の寄港回数が増加傾向にあることから、大型クルーズ船の寄港に向けた持続可能な受入体制の構築を図る。 （寄港増加傾向においては、コロナ禍は除く。）	国,県,市町村,関係団体	短期的なクルーズ客の利便性・安全性確保		
		西ふ頭貨客兼用バースにおける短期的なクルーズ客の利便性・安全性確保に資する施設の整備		
		調査・検討	調査・検討	基本設計

担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課　【　098-866-2395　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	港湾調査費		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
県単等	委託	8,004	7,000

予算事業名	港湾調査費	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	7,000

令和5年度活動内容

令和４年度に行った将来計画のふ頭再編検討を踏まえ、段階的な整備案を作成するため、西ふ頭の岸壁の利用状況を調査した。

令和6年度活動計画

大型クルーズ船における寄港回復の状況を踏まえ、基本設計を検討する。

活動指標名	西ふ頭貨客兼用バースにおける短期的なクルーズ客の利便性・安全性確保に資する施設の整備		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		大型クルーズ船が寄港する西ふ頭の岸壁は、人流と物流で利用されていることから、物流面の貨物や船舶の利用状況を把握するため調査を行った。
	大型クルーズ船の受入体制の構築	調査・検討	調査・検討	調査・検討	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
大型クルーズ船が寄港する岸壁は、人流と物流で利用されていることから利便性・安全性を確保するため棲み分けを調査する必要がある。 本調査で物流面の利用状況を調査したことから、順調と判断した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○県内のクルーズ船の需要は、徐々に回復傾向にあるが、中城湾港の回復が他港より遅れていることから、中城湾港の需要回復状況を確認し、整備内容・整備時期を整理する。	○中城湾港において、令和５年度はクルーズ船の寄港実績が無かったため、令和６年度の寄港状況の動向を踏まえて、整備内容・整備時期を整理する。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	国際クルーズ船が再開し、大型クルーズ船の寄港は、回復傾向にあるが、中国のクルーズ需要の回復が遅れているため、中城湾港の回復が遅れている。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	国際クルーズ船をスムーズでストレスなく受け入れるためには、中部圏域の受入体制構築を図る必要があるため、地元関係機関との連携強化を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施　策	③質の高いクルーズ観光の推進
			施策の小項目名	○観光交流拠点としての寄港促進
主な取組	石垣港の整備		対応する成果指標	プレミアム／ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合
施策の方向	・クルーズ寄港地の分散化と県内での周遊を促進することにより、より広い範囲・分野に経済効果を波及させるため、県内周遊クルーズや着地型観光を図るとともに、受入施設、二次交通及び周辺環境の整備を進め、観光交流拠点としての寄港促進に向けて取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
石垣港新港地区において大型旅客船ターミナル整備事業(泊地、防波堤)を推進する。	国,石垣市	大型クルーズ船に対応する新港地区旅客船ターミナル整備事業の促進		
		旅客船ターミナル整備等		
		岸壁・水域施設等の整備	岸壁・水域施設等の整備	岸壁・水域施設等の整備

担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課　【　098-866-2395　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	石垣港港湾改修事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
国直轄	その他		

予算事業名	石垣港港湾改修事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
国直轄	その他	

令和5年度活動内容

国直轄において大型旅客船ターミナル（泊地、防波堤）の整備を行った。

令和6年度活動計画

国直轄において大型旅客船ターミナル（泊地、防波堤）の整備を行う。

活動指標名	旅客船ターミナル整備等		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		石垣港において大型旅客船ターミナル(泊地、防波堤)の整備を行った。
	石垣港の整備	岸壁・水域施設等の整備	岸壁・水域施設等の整備	岸壁・水域施設等の整備	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

石垣港においては、国において計画的に進捗がなされている。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○石垣港では、県として、国及び石垣市に対し早期整備等の要望を行うなど事業の促進を図る。	○国に対し、事業の早期整備等の要望を適宜行うなど事業の促進を図った。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	国に対し早期整備等の要望を行うなど事業の促進を図る。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	早期整備を図るため港湾管理者である石垣市等により、国に対し早期整備等の要望を行うなど事業の促進を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施　策	③質の高いクルーズ観光の推進
			施策の小項目名	○多様な国際クルーズネットワークの拡充等
主な取組	クルーズ船社へのポートセールの実施		対応する成果指標	プレミアム／ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合
施策の方向	・フライ・アンド・クルーズ等の新たな旅行形態についても、良質な観光・ツーリズムの振興を要件に、沖縄観光の付加価値を創出する方策として展開を図り、その誘致を含めた多様な国際クルーズネットワークの拡充等に取り組みます。クルーズ船寄港による経済的利益の創出と地域への還元のあり方について検討を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
多様なクルーズ船をターゲットとして、船社訪問やクルーズ関連展示会等へ参加しポートセールスを実施する。	那覇港管理組合	プレミアム／ラグジュアリークラスを含む多様なクルーズ船をターゲットにしたポートセールスの実施		
		ポートセールスの実施回数（累計）		
		3回	3回（6回）	3回（9回）

担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課　【　098-866-2395　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	クルーズ関連推進事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
市町村	直接実施	1,712	3,622

予算事業名	クルーズ関連推進事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
市町村	直接実施	6,166

令和5年度活動内容

クルーズ関連イベントや旅行博へのブース出展を計３回実施し、国内外船社ブースを訪問する等ポートセールスを実施した。

令和6年度活動計画

クルーズ関連イベントや旅行博へのブース出展等を通してポートセールスを実施する。

活動指標名	ポートセールスの実施回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		クルーズ関連イベントや旅行博へのブース出展を計３回実施し、国内外船社ブースを訪問する等ポートセールスを実施した。
	0回	3回	3回	３回（６回）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
達成割合が100%であることから、「順調」とした。 また、約３年ぶりに那覇港へのクルーズ船寄港が再開された令和５年の寄港実績は79回となり、令和６年の寄港予約も200回を超えており、ポートセールスの効果があった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○国内における国際クルーズ船運航が再開したことで、海外船社へのプロモーションを積極的に実施する。 ○県内他港と連携した沖縄全体としての魅力の発信や、他県港湾と連携し日本の多様性を海外に発信する等、他港との連携を図りポートセールスを実施する。	○クルーズ関連イベントや旅行博へのブース出展を計３回実施し、国内外船社ブースを訪問する等ポートセールスを実施した。 ○多様な運航形態による寄港数の増加に向け、フライ・アンド・クルーズを計12回受入れる等、沖縄県及び観光関係団体と連携し質の高いクルーズ観光の取り組みを進めている。

３　取組の検証（Check）

類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和５年５月に、コロナウイルス感染症が「５類感染症」に変更されて以降、全てのクルーズ船を受入れている。
⑦ その他(改善余地の検証等)	寄港地が那覇港単独のポートセールスでは効果が限定的であり、フライ・アンド・クルーズ受入による質の高いクルーズ観光を推進する必要がある。

４　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	国内における国際クルーズ船運航が再開したことで、海外船社へのプロモーションを積極的に実施する。
② 連携の強化・改善	ポートセールス実施にあたり、県内他港と連携した沖縄全体としての魅力の発信や、他県港湾と連携し日本の多様性を海外に発信する。